

KSK 湘南ふくしネットワーク オンブズマン(新聞) 広報72号

編集責任者: NPO 法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン 相川 裕
事務所: 〒253-0002 神奈川県茅ヶ崎市高田5-3-11 ジュネスナカダ2-208
電話・FAX: 0467-81-7660 直通電話 090-4937-4904 定価 30円
ホームページ: <http://www.npo-snet.com> eメール: info@npo-snet.com



能登半島北陸大震災お見舞い申し上げます。

令和6年能登半島地震で被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地等で被災者支援にあたっておられる方々に感謝申し上げます。

地震発生から約2週間が経ちますが、いまだに停電・断水が広範囲で継続し、孤立している集落も多数あるとのこと、施設や地域で暮らしておられた高齢者や障害者の方々も、この大変な日々を何とか無事に過ごしておられますように、と祈るような思いです。

必要な支援が速やかに届くことを願うとともに、私たちができる支援をささやかでも継続して実践してゆきたいと考えています。(1/13 記)

フィエスタ翔に参加しました

昨年10月22日(日)茅ヶ崎市中央公園で開かれた翔の会主催のフィエスタ翔に、テントを一つお借りして相談ブースを開き、参加いたしました。



成年後見支援センターでは、出張相談を行い、Sネットが行っている「法人後見」について、チラシを作成して説明をしたりしました。

説明チラシは
次ページに

オンブズマンは、会場内を巡り、普段施設でお目にかかっている利用者の方たちの参加の様子やご家族とご一緒の様子を拝見したり、それぞれの施設の出店のお店で買い物をして楽しんだりしました。



おや ほうじんこうけん 親なきなきあとの法人後見

ほうじんこうけん
法人後見とは、^{しんぞく}親族や、^{せんもんか}専門家などの^{こじんこうけん}個人後見と同じように、^{しゃかいふくしほうじん}社会福祉法人や

^{しゃだんほうじん}社団法人、^{えぬぴーおーほうじん}NPO 法人が^{せいねんこうけんにん}成年後見人として、^{はんだんのうりよく}判断能力が^{ふじゅうぶん}不十分な方の^{かた}保護・^{ほご}支援

^{おこ}
を行うことです。



ほうじんこうけん 法人後見のメリット

① ^{こじん}個人が^{せいねんこうけんにんとう}成年後見人等に^{しゅうにん}就任した場合、^{ばあい}成年後見人等の^{びょうき}病気、^{じこ}事故、^{しほうとう}死亡等により、

^{こうけんじむ}後見事務が^{てきせつ}適切に行われなくなるという^{おそ}恐れがありますが、^{ほうじんこうけん}法人後見では、^{こうけん}後見

^{じむたんとうしゃ}事務担当者を変更することにより、^{へんこう}このような^{じたい}事態を^{かいひ}回避することができ、^{ちようき}長期に

^{しえん}
^{かのう}
わたる支援が可能です。

② ^{ほうじん}法人は、^{しよくれき}いろいろな^{けいけん}職歴、^{せんもんちしき}経験、^も専門知識を持つ者で^{もの}構成されるため、^{こうせい}それぞ

^{せんもんぶんや}れの^{ちしき}専門分野での^{じつむけいけん}知識や^え実務経験から^{きょうくん}得た^{ちくせき}教訓、^{ちくせき}ノウハウの^{てきせつ}蓄積により、^{てきせつ}適切な

^{しえん}
^{かのう}
支援が可能です。

③ ^{ほうじんないぶ}法人内部で^{ふくすうたんとうしゃせい}複数担当者制、^{かんとくたいせい}監督体制を^{こうちく}構築することで、^{あんぜんせい}安全性が^{たか}高くなります。

また、^{ほうじんないぶ}法人内部における^{じつむけいけん}実務経験の^{きょうゆう}共有、^{そうだんたいせい}相談体制の^{じゅうじつ}充実により、^{こうけんじむたんとう}後見事務担当

^{しゃ}
^{ほうじんぜんたい}者を法人全体が^{しつ}バックアップするため、^{たか}質の高い^{しえん}支援が^{かのう}可能です。





権利擁護人材育成研修会 報告

S ネットでは2023年11月18日(土)に茅ヶ崎市役所分庁舎5階AB会議室において、当法人の初代理事長で東洋大学福祉社会デザイン学部教授高山直樹さんを講師に、「権利をまもるとは」をテーマに権利擁護人材育成研修会を開催いたしました。

〈講演メモ〉

津久井やまゆり園での殺傷事件を起こした元職員は、「生産性に携われないことは生きる価値が無い。抹殺することが救済」と言った。経済優先の優性思想。

それに対する反論として、糸賀一雄さんの有名な「この子らを世の光に」の解説があった。「この子らはどんな重い障害をもっている、だれと取り替えることもできない個性的な自己実現をしているものである。人間と生まれて、その人なりに人間となっていくのである。

その自己実現こそが創造であり、生産である。私たちの願いは、重症な障害をもったこの子たちも立派な生産者であるということ、認め合える社会をつくら



うということである。『この子らに世の光を』あててやろうという哀れみの政策を求めているのではなく、この子らが自ら輝く素材そのものであるから、いよいよ磨きをかけて輝かそうというのである。『この子らを世の光に』である。この子らが、生まれながらにして持っている人格発達の権利を徹底的に保

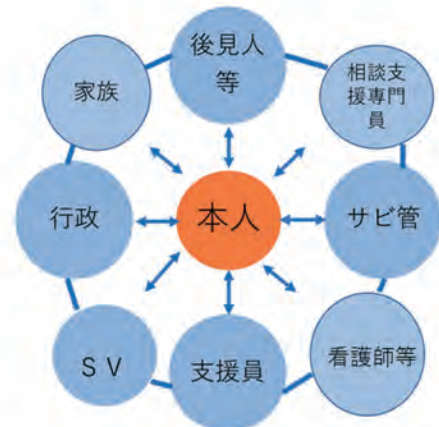
障せねばならぬということなのである。(『糸賀一雄著作集Ⅱ』)

この言葉の中で注目すべきは「この子らが自ら輝く素材そのものである」と彼らにはパワーがあると**ストレングス**の視点から、「いよいよ輝かそうというのである」と**エンパワメント**を説いている点であり、更に社会につなげて社会を変えて行くのだという「**社会モデル**」が入っている。だから、オンブズマンにしろ、支援者にしろ、「利用者は『社会を変える最強のパートナー』なのだ」と。我々はパートナーとして、彼らの人格発達の権利を徹底的に保障するために、地域で展開していかなければならない。

福祉制度が色々作られているが、本人の側に立っていない。「放課後等デイサービス」など本人は選んでいない。本来放課後は学校から解放されて自由な時間。計画されたくない。

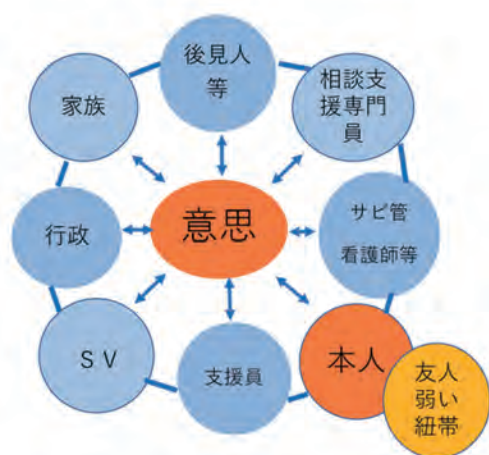
そもそも他者に計画を立てられたいか？他者に計画を立てられてそれで生きろと言われたら嫌でしょ、絶対に！それを障害があるからと言ってサービス等利用計画や個別支援計画を立てなければいけないのか。勝手に作っちゃってなお且つ本人の声を聴いていなかったりする。

障害者の権利条約17条に抵触し、アウト。計画を立てること自体が権利侵害なのだ意識して、**本人を真ん中に置かなければいけない。**



津久井やまゆり園の意思決定支援アドバイザーに關与して、4年間取り組んだ。本人が必ず参画して次の居場所を決めた。次の居場所が入所施設かグループホームという選択肢しかないという事実をどうとらえるか。居場所の選択がゴールではなく、人生の主人公であることを維持する。意思表示支援、意思を言える新たな関係、居場所を創り出す必要がある。

職員の仕事は、居場所づくり、意思表示の環境づくり。だからソーシャルワーク。職員が自分で聴いて、地域を耕すことになる。



障がいのある人に関わって、その人の自己実現のために関わる。支援者はこの仕事をするを自己決定した。利用者の自己実現に関わることで、支援者自身の自己実現につながってくる。

意思決定支援は、計画やモニタリング過程に本人が参画していること。

本人が議論の輪の中に入り本人がものを言って行く。真ん中に有るのは「意思」。

津久井やまゆり園での意思決定支援では、Sネットの「お友達プロジェクト」のお友達(弱い紐帯)がモニタリングに参加した。入道雲や水平線にはオンブズマンが居るので、この意思決定支援にオンブズマンが関わるできないかなと思っている。

権利とは「自分が自分であることに欠かせないもの」ということ。自己を主張していく(セルフアドボカシー)。そして主張していくことを支援するのが意思決定支援ではないだろうか。

権利を主張してもすぐに思い通りにはならない。ぶつかり合ったり、建設的に悩む必要が有ったりする。支援者、オンブズマンは「権利」を利用者とともに作っていく。

消極的権利擁護はゼロベースに戻すだけ。本人の自己実現という積極的権利擁護を進めたい。積極的権利擁護は施設の中で職員だけではできない。本人の声の実現のために地域とつながっていく、地域を耕したり、社会資源を導入したり通ったりしなければならない。

権利は right(ライト)。「その通りだよね」「ごもっとも!」「いいね!」です。

(江崎)

賛助会員 入会のお願い

私たちは、ノーマライゼーション社会の実現を目指し、権利擁護活動を行っています。賛助会員としてご入会いただき、私たちの活動をご支援くださいますようお願い申し上げます。

- ◇賛助会員 ・個人 年額 ー□ 1,000円(ー□以上)
- ・法人 年額 ー□ 5,000円(ー□以上)

◇ご入会の方法: 郵便為替書により下記口座へ会費をお振込みください

郵便振替口座番号: 00210-9-75496

口座名義人: NPO 法人 S ネットオンブズマン

発行: 2024年1月

